

青年協ニュース

全国の取組みやチラシ・ニュース等をお寄せください!

日本医労連 FAX: 03 - 3875 - 6270 email: seinen@irouren.or.jp

* このニュースは各県と各県青年部の代表(分かる範囲で)に送っています。
メール配信や会議での配布など、多くの青年に渡るようご協力ください。

「新潟中越地震被災支援・緊急カンパ」へのご協力を

すでにご承知の通り、10/23に新潟・上越市を中心に大規模な地震が発生、現在も強い余震が相次いでいます。この地震で多くの死傷者、家屋損傷やライフライン切断などの被害が出ました。

医労連加盟では厚生連・民医連関係に被害が出ています。自ら被災しながらも自宅へ帰らずに医療活動に当たっている組合員もいます。現在は新潟県医労連が新潟厚生連や民医連労組とともに、具体的な支援活動を行っています。

日本医労連は、当面緊急に任意の「支援カンパ」を呼びかけています。青年としても労組に結集するなどして積極的に協力しよう(詳細は日本医労連発第34号をごらんください)。

期 間	直ちに開始
振 込 先	中央労働金庫 本店営業部 普通 8295240 日本医労連
配分の仕方	全労連および新潟県医労連などと相談のうえ、被災した 組合員・職員・施設などに配分します。



青年代表者会議の参加申込締切は11/5です

前号でもお知らせしたように、2004年度議案を各組織に5部ずつ送付しましたので、青年役員の方、特に11/13(土)~14(日)に熱海「南明ホテル」で開催される青代に参加予定の方は、是非事前にご覧ください。議案はメールでも送信できますので、欲しい方は連絡ください。

また青代の参加申込みは11/15(金)となっております! 必着でお願いします m(__)m

現在のところ申込みは、全日赤1、全労災2、岩手2、秋田1、山陰3、北海道3となっております(青年委員は除く)。

平和学習がんばってます！！ 岡山県青年部

岡山県医労連青年部は平和に力を入れています。夏には平和行進で平和をアピール、じゃあ秋には学習だ！！ってことで...



9月26日は2つの体験談を聞く会を...

爆体験： 平末さんは広島で生まれ国鉄に勤務されておりました。14歳の時に被爆し、39度の高熱が3ヶ月も続き、皮膚には発疹が出たとのこと。その後岡山に引っ越され宇野駅で働くも、当時は「被爆者」などと言われてイジられたそうです。今は原爆で亡くなった人たちのために自分の体験を語り続けています。

引き上げ体験： 清水さんはお父さんの仕事の関係で今の北朝鮮に住んでおりました。当時は日本の領地でもあり現地の方よりは裕福だったそうですが、戦争が終わると立場が逆転し、人里離れた山奥を何日もかけて今の韓国まで歩いて脱出し、船で日本に帰国されました。50日かかったそうですが、これは早いほうでなかにはもっと時間がかかった方もいれば、途中で亡くなられた方も多くいたそうです。



10月11日は青年部役員で広島平和学習ツアーを... 岡山県青年部も協力

資料館見学をし、平和公園内を広島の青年部の方たちに案内してもらいながら、多くの碑巡りを。原爆が投下されたのが「なぜ広島だったのか？」「なぜ日本だったのか？」皆さんは知っていますか？今まで教科書などでしか学んでいなかった私たちは驚きと悲しみと怒りで胸がいっぱいになりました。詳しく書けば長くなります。この学習会の報告は、岡山県医労連青年部定期大会で発表します(資料が欲しい方は連絡ください)

今の私たちは戦争を知らない世代です。でも平和運動は戦争を知らなくてもできます。しかし、戦争の本当の恐ろしさや辛さ、悲しみや憤りは体験した方でないとうかがえません。体験者から話を聞ける最後の世代として、しっかり引き継いでいかなければなりません。罪のない尊い命を奪われた方達のために...

(日本医労連青年委員・濱村裕子さん 岡山・全医労長島支部)



今年も日本医労連春闘討論集会で青年分科会！

昨年に続き、今年も日本医労連主催の春闘討論集会で青年の分科会が設けられます。昨年の参加者の感想も取り入れた内容にしようとして、現在 日本医労連 05 春闘方針についての議論、 青年協 05 春闘方針と学習、の2段構えで準備中。対象者は各組織青年幹部です。

詳細は今後発送される春闘討論集会開催要項(医労連發文書)を参照してください。春闘討論集会の日時などは下記のとおりです。

日時 12/10(金)・11(土)
会場 伊東「ハトヤホテル」(山の上のハトヤです)
スケジュール 講演 「内側から見た富士通・成果主義賃金の実態」講師:城繁幸氏
問題提起 西川活夫書記長
分科会
講演 「医療・社会保障情勢」講師:日野秀逸氏(国民医療研究所所長)

